

基礎演習

科目名	基礎演習 I		担当教員	佐々木正晴
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード B50000
概要	[キーワード:実験企画, 行動観察, 結果分析, 問題展開] A. 実験企画書を作成. B. 視覚系活動を制約する実験(視野の遮蔽:アイマスク, 視野の制限:ピンホールめがね, 視野の変換:逆さめがね)を行い, その行動を観察, 分析し, 問題を展開.			
到達目標	P. 企画書を作り, 計画を表現する手法を形成する. Q. 行動を観察, 分析する手法を形成する. R. 実験事実に基づき新しい問題を展開する手法を形成する.			
授業の内容	1. 演習の進め方. 10. 視野制限実験. 2. アイマスク, ピンホール, 逆さめがねを体験. 11. 報告書発表. 3. 公園にてブランコ, 滑り台, 鉄棒の実験. 12. 報告書発表. 4. 前年度の実験成果・報告書の読み合わせ. 13. 再度, 実験. 5. 前年度の実験成果・報告書の読み合わせ. 14. 報告書作成. 6. アイマスク, ピンホール, 逆さめがねを体験. 15. 総括. 成果発表 7. 実験 Group 形成. 8. 実験開始. 視野遮蔽実験. 9. 逆さめがね実験.			
評価方法	出席 50 点, レポート 50 点.			
教材・教科書	なし.			
留意点	実験を行う.			

基礎演習

科目名	基礎演習 I (2 限目)		担当教員	鎌田学
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード B50001
概要	[キーワード: 論理学入門] 「論理的な思考法 (logical thinking)」を身に付けて、大学4年間における学修の基礎力を養う。これは同時に将来の入社試験、あるいは公務員試験(推論分野)対策としても役立つはずである。			
到達目標	「接続関係」、「推測」、「演繹」、「消去法」等について理解すること。			
授業の内容	1. ガイダンス 10. 「推測」のタイプを理解する 2. さまざまな接続関係 11. 「演繹」のタイプを理解する 3. さまざまな接続関係② 12. 「逆、裏、対偶」を理解する 4. さまざまな接続関係③ 13. 上記練習問題 5. 接続の構造 14. 「消去法」の使い方を理解する 6. 接続の構造② 15. まとめ 7. 接続の構造③ 8. 議論の組み立て 9. 議論の組み立て②			
評価方法	出席 (50%)、小テストおよび期末試験 (50%)			
教材・教科書	野矢茂樹『新版 論理トレーニング』(産業図書、2200 円)			
留意点	小テストを数回行う。			

基礎演習

科目名	基礎演習 I (3 限目)			担当教員	鎌田学																		
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	2 単位・前期	科目コード	B50002																		
概要	<p>[キーワード：映画の歴史、ハリウッド]</p> <p>ハリウッド映画の歴史をたどりながら、映画という表現法の可能性について考える。</p>																						
到達目標	文章読解力を高める。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス</td> <td>10. 古典的ハリウッドの成熟</td> </tr> <tr> <td>2. ハリウッド前史</td> <td>11. 古典的ハリウッドの成熟②</td> </tr> <tr> <td>3. ハリウッド誕生</td> <td>12. 古典的ハリウッドの成熟③</td> </tr> <tr> <td>4. ハリウッド誕生②</td> <td>13. 黄昏に輝くハリウッド</td> </tr> <tr> <td>5. ハリウッド誕生③</td> <td>14. 黄昏に輝くハリウッド②</td> </tr> <tr> <td>6. 夢見るハリウッド</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 夢見るハリウッド②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 夢見るハリウッド③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 夢見るハリウッド④</td> <td></td> </tr> </table>					1. ガイダンス	10. 古典的ハリウッドの成熟	2. ハリウッド前史	11. 古典的ハリウッドの成熟②	3. ハリウッド誕生	12. 古典的ハリウッドの成熟③	4. ハリウッド誕生②	13. 黄昏に輝くハリウッド	5. ハリウッド誕生③	14. 黄昏に輝くハリウッド②	6. 夢見るハリウッド	15. まとめ	7. 夢見るハリウッド②		8. 夢見るハリウッド③		9. 夢見るハリウッド④	
1. ガイダンス	10. 古典的ハリウッドの成熟																						
2. ハリウッド前史	11. 古典的ハリウッドの成熟②																						
3. ハリウッド誕生	12. 古典的ハリウッドの成熟③																						
4. ハリウッド誕生②	13. 黄昏に輝くハリウッド																						
5. ハリウッド誕生③	14. 黄昏に輝くハリウッド②																						
6. 夢見るハリウッド	15. まとめ																						
7. 夢見るハリウッド②																							
8. 夢見るハリウッド③																							
9. 夢見るハリウッド④																							
評価方法	出席 (50%)、レポート(50%)																						
教材・教科書	北野圭介『ハリウッド 100 年史講義』(平凡社新書 798 円)																						
留意点																							

基礎演習

科目名	基礎演習 I			担当教員	坂井任																		
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	2 単位・前期	科目コード	B50003																		
概要	<p>[キーワード： 実用的文章作成能力、レポート・論文作成法]</p> <p>大学では、自ら課題を設定し、自分で調べ、考え、他人に伝わる文章にまとめる能力が要求される。この授業では、文書作成能力を鍛え、社会人基礎力の向上を目指す。</p>																						
到達目標	<p>報告書・レポートなどの論理的な文章や、実用的な文章がきちんと書けるようにする。大学生にふさわしい日本語力・文章力を身につける。情報検索や図書館の利用法を学ぶ。</p>																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 自己紹介のしかた</td> <td>10. 文章作成の基礎(7)</td> </tr> <tr> <td>2. 文章作成の基礎(1)</td> <td>11. 文章作成の基礎(8)</td> </tr> <tr> <td>3. 文章作成の基礎(2)</td> <td>12. レポート・論文の書き方(1)</td> </tr> <tr> <td>4. 文章作成の基礎(3)</td> <td>13. レポート・論文の書き方(2)</td> </tr> <tr> <td>5. 文章作成の基礎(4)</td> <td>14. レポート・論文の書き方(3)</td> </tr> <tr> <td>6. 文章作成の基礎(5)</td> <td>15. レポート・論文の書き方(4)</td> </tr> <tr> <td>7. 情報検索の技法(ネット倫理含む)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 図書館利用法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 文章作成の基礎(6)</td> <td></td> </tr> </table>					1. 自己紹介のしかた	10. 文章作成の基礎(7)	2. 文章作成の基礎(1)	11. 文章作成の基礎(8)	3. 文章作成の基礎(2)	12. レポート・論文の書き方(1)	4. 文章作成の基礎(3)	13. レポート・論文の書き方(2)	5. 文章作成の基礎(4)	14. レポート・論文の書き方(3)	6. 文章作成の基礎(5)	15. レポート・論文の書き方(4)	7. 情報検索の技法(ネット倫理含む)		8. 図書館利用法		9. 文章作成の基礎(6)	
1. 自己紹介のしかた	10. 文章作成の基礎(7)																						
2. 文章作成の基礎(1)	11. 文章作成の基礎(8)																						
3. 文章作成の基礎(2)	12. レポート・論文の書き方(1)																						
4. 文章作成の基礎(3)	13. レポート・論文の書き方(2)																						
5. 文章作成の基礎(4)	14. レポート・論文の書き方(3)																						
6. 文章作成の基礎(5)	15. レポート・論文の書き方(4)																						
7. 情報検索の技法(ネット倫理含む)																							
8. 図書館利用法																							
9. 文章作成の基礎(6)																							
評価方法	出席状況+課題への取り組み(2/3)、提出物(1/3)																						
教材・教科書	『Practical 日本語 文章表現編 改訂版』おうふう (本体 1500 円+税) ※ 「口頭表現編」もあるので間違えないこと。「改訂版」なので注意すること。																						
留意点	上記教科書を購入すること。																						

基礎演習

科目名	基礎演習 I			担当教員	森田猛																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	B50005																		
概要	〔キーワード： 世界の歴史、学問の基礎〕 各自が選んだ世界史上の人物、事件、現象について調査研究し、その成果を発表する。参加メンバー全員で発表内容について討論する。調査と研究にかんする作業を行い、図書館の利用方法や情報機器の初歩的な使い方を学ぶ。																						
到達目標	主体的な学びのための基礎的な技法を身につける。歴史的なものの見方、考え方を体験する。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 自己紹介</td> <td>10. 個人発表と討論②</td> </tr> <tr> <td>2. 歴史研究の初歩</td> <td>11. 個人発表と討論③</td> </tr> <tr> <td>3. 図書館の使い方</td> <td>12. 個人発表と討論④</td> </tr> <tr> <td>4. 情報機器の使い方</td> <td>13. 個人発表と討論⑤</td> </tr> <tr> <td>5. テーマの選び方、発表の仕方</td> <td>14. 個人発表と討論⑥</td> </tr> <tr> <td>6. 調査と研究①</td> <td>15. レポートの書き方、まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 調査と研究②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 中間発表、小課題提出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 個人発表と討論①</td> <td></td> </tr> </table>					1. 自己紹介	10. 個人発表と討論②	2. 歴史研究の初歩	11. 個人発表と討論③	3. 図書館の使い方	12. 個人発表と討論④	4. 情報機器の使い方	13. 個人発表と討論⑤	5. テーマの選び方、発表の仕方	14. 個人発表と討論⑥	6. 調査と研究①	15. レポートの書き方、まとめ	7. 調査と研究②		8. 中間発表、小課題提出		9. 個人発表と討論①	
1. 自己紹介	10. 個人発表と討論②																						
2. 歴史研究の初歩	11. 個人発表と討論③																						
3. 図書館の使い方	12. 個人発表と討論④																						
4. 情報機器の使い方	13. 個人発表と討論⑤																						
5. テーマの選び方、発表の仕方	14. 個人発表と討論⑥																						
6. 調査と研究①	15. レポートの書き方、まとめ																						
7. 調査と研究②																							
8. 中間発表、小課題提出																							
9. 個人発表と討論①																							
評価方法	平常点（出席、発言、「ヒログク教養講話」出席状況）40%、小課題10%、レポート50%																						
教材・教科書	教科書は使用しない。プリントを適宜配布。																						
留意点	演習は、学生が主体的につくりあげる授業。毎回出席し、積極的に発言することが求められる。毎回出席をチェックする。																						

基礎演習

科目名	基礎演習 I			担当教員	須川公央																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	B50007																		
概要	〔キーワード： 複眼的思考法、レジュメの作成法、発表の仕方〕 受講者各自が、いま最も関心のあるテーマを一つ選択し、それについてレジュメをまとめ、発表を行う。																						
到達目標	レジュメ作成の基本的なスキル、発表の仕方、およびディベート能力を養う。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>10. 発表と討論（5）</td> </tr> <tr> <td>2. パソコンの基本操作</td> <td>11. 発表と討論（6）</td> </tr> <tr> <td>3. 文献調査の方法</td> <td>12. 発表と討論（7）</td> </tr> <tr> <td>4. レジュメの作成方法（1）</td> <td>13. 発表と討論（8）</td> </tr> <tr> <td>5. レジュメの作成方法（2）</td> <td>14. 発表と討論（9）</td> </tr> <tr> <td>6. 発表と討論（1）</td> <td>15. これまでの振り返り</td> </tr> <tr> <td>7. 発表と討論（2）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 発表と討論（3）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 発表と討論（4）</td> <td></td> </tr> </table>					1. オリエンテーション	10. 発表と討論（5）	2. パソコンの基本操作	11. 発表と討論（6）	3. 文献調査の方法	12. 発表と討論（7）	4. レジュメの作成方法（1）	13. 発表と討論（8）	5. レジュメの作成方法（2）	14. 発表と討論（9）	6. 発表と討論（1）	15. これまでの振り返り	7. 発表と討論（2）		8. 発表と討論（3）		9. 発表と討論（4）	
1. オリエンテーション	10. 発表と討論（5）																						
2. パソコンの基本操作	11. 発表と討論（6）																						
3. 文献調査の方法	12. 発表と討論（7）																						
4. レジュメの作成方法（1）	13. 発表と討論（8）																						
5. レジュメの作成方法（2）	14. 発表と討論（9）																						
6. 発表と討論（1）	15. これまでの振り返り																						
7. 発表と討論（2）																							
8. 発表と討論（3）																							
9. 発表と討論（4）																							
評価方法	出席状況（25点）および発表の貢献度（75点）などを総合的に勘案して評価する。なお、授業の欠席は基本的に認められないので注意すること																						
教材・教科書	特になし																						
留意点	初回に、発表担当を決める関係上、受講予定者は、初回から積極的に受講の意思を表明すること。																						

基礎演習

科目名	基礎演習Ⅱ			担当教員	佐々木正晴
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	B50010
概要	[キーワード:結果報告, 行動観察, 結果分析, 問題展開] C. 実験報告書を作成。 D. 前期を承け, 問題を展開し, 実験を続ける。一回の実験毎に報告書を作成。				
到達目標	X. 文章を介して出来事を表現する手法を形成する。 Y. 行動を観察する手法を形成する。 Z. detaに基づき新しい問題を展開する手法を形成する。				
授業の内容	1. 前期報告書を読み合わせ。 10. 書字実験, 報告書 2. ブランコ, 滑り台, 鉄棒, 実験。 11. まとめ 3. 実験 Group 形成。新たな問題を設定。 12. 追加実験, 報告書 4. 各 Group 実験開始。 13. 全体実験, 報告書 5. 屋内歩行実験, 報告書 14. 総括, 成果発表(Power P.)の準備 6. 屋外歩行実験, 報告書 15. 成果発表(Power P.) 7. 公園歩行実験, 報告書 8. 食事実験, 報告書 9. 楽器演奏実験, 報告書				
評価方法	出席 50 点 , レポート 50 点.				
教材・教科書	なし.				
留意点	実験を行う。				

基礎演習

科目名	基礎演習Ⅱ (2限目)			担当教員	鎌田学
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	B50011
概要	[キーワード:論理学入門、アカデミックライティング] 前期に引き続き「論理的な思考法」を訓練する。また、小論文を含むアカデミックライティングについて解説する。				
到達目標	「背理法」を理解する。また、アカデミックライティングの要諦を理解し、実践する。				
授業の内容	1. ガイダンス 10. テーマを見つける 2. 「背理法」を理解する 11. テーマを見つける② 3. 「背理法」を理解する② 12. 下書きを作る 4. 批判への視点 13. 文章を完成させる 5. 批判への視点② 14. 発表する 6. アカデミックライティングとは 15. まとめ 7. 文章(論説文)を読解する 8. 文章(論説文)を読解する② 9. 文章(論説文)を読解する③				
評価方法	出席 (50%)、小テストおよび期末試験(50%)				
教材・教科書	野矢茂樹『新版 論理トレーニング』(産業図書、2200円)				
留意点					

基礎演習

科目名	基礎演習Ⅱ (3限目)			担当教員	鎌田学																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	B50012																		
概要	〔キーワード：映画の歴史、ハリウッド〕 ハリウッド映画の歴史をたどりながら、映画という映像表現法について考える。																						
到達目標	教科書の講読とともに、ある映画作品を紹介する文章を自らつくりプレゼンする。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス</td> <td>10. 映画作品を紹介する④</td> </tr> <tr> <td>2. 七〇年代以降</td> <td>11. 映画作品を紹介する⑤</td> </tr> <tr> <td>3. 七〇年代以降②</td> <td>12. 映画作品を紹介する⑥</td> </tr> <tr> <td>4. 今日のハリウッド</td> <td>13. 映画作品を紹介する⑦</td> </tr> <tr> <td>5. 今日のハリウッド②</td> <td>14. 映画作品を紹介する⑧</td> </tr> <tr> <td>6. 今日のハリウッド③</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 映画作品を紹介する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 映画作品を紹介する②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 映画作品を紹介する③</td> <td></td> </tr> </table>					1. ガイダンス	10. 映画作品を紹介する④	2. 七〇年代以降	11. 映画作品を紹介する⑤	3. 七〇年代以降②	12. 映画作品を紹介する⑥	4. 今日のハリウッド	13. 映画作品を紹介する⑦	5. 今日のハリウッド②	14. 映画作品を紹介する⑧	6. 今日のハリウッド③	15. まとめ	7. 映画作品を紹介する		8. 映画作品を紹介する②		9. 映画作品を紹介する③	
1. ガイダンス	10. 映画作品を紹介する④																						
2. 七〇年代以降	11. 映画作品を紹介する⑤																						
3. 七〇年代以降②	12. 映画作品を紹介する⑥																						
4. 今日のハリウッド	13. 映画作品を紹介する⑦																						
5. 今日のハリウッド②	14. 映画作品を紹介する⑧																						
6. 今日のハリウッド③	15. まとめ																						
7. 映画作品を紹介する																							
8. 映画作品を紹介する②																							
9. 映画作品を紹介する③																							
評価方法	出席 (50%)、レポート(50%)																						
教材・教科書	北野圭介『ハリウッド100年史講義』(平凡社新書 798円)																						
留意点																							

基礎演習

科目名	基礎演習Ⅱ			担当教員	坂井任																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	B50013																		
概要	〔キーワード：レポート・論文作成法、報告型のレポート〕 レポートには大きく分けて「報告型」と「論証型」がある。この授業では、「報告型」のレポートを例に、レポートの書き方を身につけ、授業のレポートや卒論等に活かす。																						
到達目標	レポートがきちんと書けるようにする。特に、レポートの構成や引用の仕方などを正しく身につける。また、文献・資料の収集の仕方も学ぶ。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. レポートとは</td> <td>10. レポート下書き2</td> </tr> <tr> <td>2. テーマの選び方</td> <td>11. レポート下書き3</td> </tr> <tr> <td>3. テーマを考える</td> <td>12. レポート下書き4</td> </tr> <tr> <td>4. テーマに関する下調べ</td> <td>13. パソコンによるレポート作成1</td> </tr> <tr> <td>5. テーマに関する文献検索</td> <td>14. パソコンによるレポート作成2</td> </tr> <tr> <td>6. テーマの決定</td> <td>15. パソコンによるレポート作成3</td> </tr> <tr> <td>7. アウトラインをつくる</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 引用と参考文献</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. レポート下書き1</td> <td></td> </tr> </table>					1. レポートとは	10. レポート下書き2	2. テーマの選び方	11. レポート下書き3	3. テーマを考える	12. レポート下書き4	4. テーマに関する下調べ	13. パソコンによるレポート作成1	5. テーマに関する文献検索	14. パソコンによるレポート作成2	6. テーマの決定	15. パソコンによるレポート作成3	7. アウトラインをつくる		8. 引用と参考文献		9. レポート下書き1	
1. レポートとは	10. レポート下書き2																						
2. テーマの選び方	11. レポート下書き3																						
3. テーマを考える	12. レポート下書き4																						
4. テーマに関する下調べ	13. パソコンによるレポート作成1																						
5. テーマに関する文献検索	14. パソコンによるレポート作成2																						
6. テーマの決定	15. パソコンによるレポート作成3																						
7. アウトラインをつくる																							
8. 引用と参考文献																							
9. レポート下書き1																							
評価方法	出席状況(40%)、課題への取り組み・提出物(40%)、レポート(20%)																						
教材・教科書	小笠原喜康『講談社現代新書 新版大学生のためのレポート・論文術』(本体720円+税) ※「旧版」と間違えないよう注意すること																						
留意点	上記教科書を購入すること。																						

基礎演習

科目名	基礎演習Ⅱ		担当教員	森田猛	
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	B50015
概要	[キーワード：日本の歴史] 各自が選んだ日本史上の人物、事件、現象について調査研究し、その成果を発表する。参加メンバー全員で発表内容について討論する。批判的な思考方法について学ぶ。				
到達目標	主体的な学びのための基礎的な技法を身につける。日本、地域に対する歴史的理解を深める。				
授業の内容	1. 「わたしが生まれた日」の新聞記事 2. 図書館の利用方法(応用編) 3. テーマの選び方 4. クリティカル・シンキング 5. 映像でみる日本① 6. 映像でみる日本② 7. 中間発表、小課題提出 8. 個人発表と討論① 9. 個人発表と討論② 10. 個人発表と討論③ 11. 個人発表と討論④ 12. 個人発表と討論⑤ 13. 個人発表と討論⑥ 14. 地域に対するまなざし 15. まとめ				
評価方法	平常点(出席、発言)40%、小課題10%、レポート50%				
教材・教科書	教科書は使用しない。プリントを適宜配布。				
留意点	毎回出席をチェックする。				

基礎演習

科目名	基礎演習Ⅱ		担当教員	須川公央	
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	B50017
概要	[キーワード：文章読解、レジュメ作成] 本演習では、前期での演習内容を踏まえ、指定文献の講読とレジュメ作成および発表を行う。				
到達目標	レジュメ作成および発表の基本的な作法(リテラシー)を身に付け、論理的、学術的な文章を書けるようにする。				
授業の内容	1. オリエンテーション 2. 文献読解の基本的作法 3. レジュメの作成方法 4. 発表と討論(1):第1篇「商品と貨幣」 5. 発表と討論(2):第2篇「貨幣の資本への転化」 6. 発表と討論(3):第3篇「絶対的剰余価値の生産」 7. 発表と討論(4):第3篇「絶対的剰余価値の生産」 8. 発表と討論(5):第4篇「相対的剰余価値」 9. 発表と討論(6):第5篇「絶対的剰余価値と相対的剰余価値の生産」 10. 発表と討論(7):第5篇「絶対的剰余価値と相対的剰余価値の生産」 11. 発表と討論(8):第5篇「絶対的剰余価値と相対的剰余価値の生産」 12. 発表と討論(9):第6篇「労働賃金」 13. 発表と討論(10):第6篇「労働賃金」 14. 発表と討論(11):第7篇「資本の蓄積過程」 15. 発表と討論(11):第7篇「資本の蓄積過程」				
評価方法	出席状況(25点)および発表の貢献度(75点)などを総合的に勘案して評価する。なお、授業の欠席は基本的に認められない。				
教材・教科書	原著(翻訳)は分量も多く難解なので、解説書(的場昭弘『超訳『資本論』』祥伝社、2008年)を検討文献として使用する。受講者は、初回演習前までに各自、購入しておくこと。				
留意点	初回に、発表担当者を決める関係上、受講予定者は、初回から積極的に受講の意思を表明すること。				